

を賜り、心よりの感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染者が北海道で初めて確認されたから、ほぼ2年がたちます。この間、私たち幼

もたちは園での様々な経験をやるべきなのか、「行事は何のために行うのか」「そもそも幼児教育はどうして必要なのか」について考えさせられる日々が続き

のオンライン研修の体制構築、人材確保のための各種事業の実施など進めてきました。コロナ禍であっても、幼児教育の質を向上し、子

人になるころ、どのような世の中になっているのでしょうか。スマホは？電気自動車は？人間の仕事は？自然環境は？これから先も必ずやってくる大

結びとなりますが、新しい年となりますよう心から祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

また、学校職員のみならず、学校医・学校歯科医・学校薬剤師をはじめ、スクールカウンセラーや保護者など、子どもにかかわる多くの方々や関係機関との連携が何より大切であることを考えております。

活動充実へ連携を大切に

北海道養護教員会会長 萬徳雅美



謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、日ご

より北海道養護教員会に對しまして、ご支援とご協力をいただき、心よのお礼申し上げます。

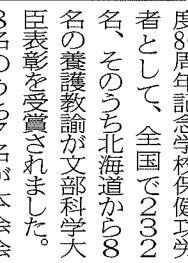
本会は会員1268名が道内15支部に分かれ、研究・研修を重ね、年に一度全道研究大会を開催しております。

本年度は、札幌小中支部が主管となり、第51回北海道養護教員研究大会をこの冬休みに開催しました。21世紀を担う児童生徒の健やかな心身の発達をめざして、これからの養護教諭の職務はいかにあるべきかを研究主題とし、動画配信と誌上発表での実施となりました。

また、昨秋は養護教諭制

主体的・積極的な参画目指し

札幌市公立小中学校事務職員協議会会長 石田陽子



謹んで新春のお慶びを申し上げます。日ご

より、学校事務職員と本会の活動に對しまして、温かいご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。心よのお礼申し上げます。

本会は昭和26年の設立当初より、会員相互の親睦を

深めつつ、学校事務職員としての資質向上を目指し、学校教育の充実・発展に寄与することを目的に、研究・研修事業を推進しております。

札幌市においては、令和2年度から学校事務の共同実施が始まり、学校事務の課題解決に向け、市内の小・中学校で構成される45グループで取組を進めております。

本会としても、事務職員を取り巻く様々な変化に對

時代の育ちと学び」と題し

講演していただきます。仲間と顔を合わせて共に学ぶことがなうよう、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら準備を進めております。

コロナ禍において、子どもたちの心と体を守り、健康やかな成長を支援できるよう、学びを深め、専門職としてより一層の資質向上に努めたいと考えております。

また、学校職員のみならず、学校医・学校歯科医・学校薬剤師をはじめ、スクールカウンセラーや保護者など、子どもにかかわる多くの方々や関係機関との連携が何より大切であることを考えております。

本年もこれまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

できることを考える、やってみる」と題し、講義していただくことも企画し、こちらも本年度は動画配信形式を予定しております。

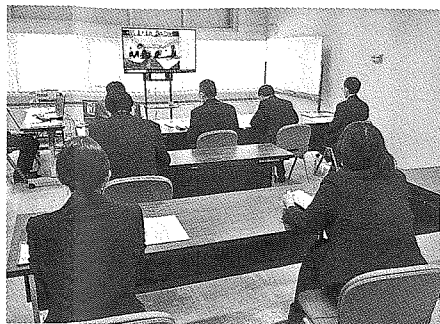
このように、世の中の変化に對しては、多くの方向に新しい取組を模索し発信していくことで、互いを高め合っている組織でありたいと願っております。

今後、学校事務職員が一層の資質向上に努め、学校運営に参画することができるよう、本会としても取組を進めてまいります。

年頭あいさつ

服務規律の保持等確認

留萌局 市町村教委教育長会議



【留萌発】留萌教育局は、昨年12月中旬、オンラインで第3回管内市町村教委教育長会議を開いた。上田哲史局長など教育局職員のほか、管内市町村教委の教育長8人が参加。教職員の働き方改革や服務規律の保持、冬休み前の児童生徒に対する指導などについて確認

した。はじめに、上田局長があいさつ。新型コロナウイルス感染症の状況にふれ、冬休み明けに子どもたちが笑顔で学校で過ごせるよう徹底した取組を求めた。また、通学路の安全対策やネット犯罪被害の発生予防などについて「お集まりの皆さんと緊密に連携し、取り組みたい」と話した。

続いて、青木順一義務教育指導監督が学校経営訪問から関係係員ら約70人が参

加。算数科・数学科の授業改善について「などをテーマにした講義が行われた。

研修会は、管内における算数科・数学科の学力等の状況や活用する力を育てる授業づくりの在り方を理解するとともに、課題解決に向けた取組を明確にすることを通して、管内各小学校

長は、全国学力・学習状況調査を踏まえた今後の取組のほか、冬休み前の児童生徒に対する指導、就学援助などについて説明した。

トレーニング室を開放

伊達開来高 機器9台導入

【室蘭発】伊達開来高校は、伊達市をはじめ、地元(相馬利幸校長)は昨年12月民間企業の協力を受けた。月上旬、トレーニング室を特別教室の床を張り直し、開放した。各部位を鍛えらる機器を導入しており、ドプレスといった機器9台を生徒たちが部活動での練習を導いた。

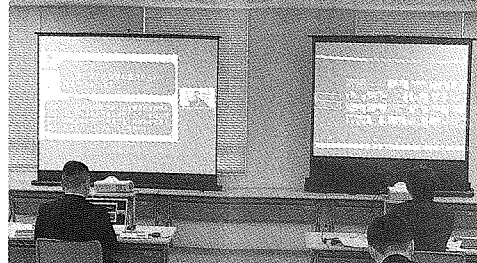
相馬校長は「導入したの

はスポーツでも使われる機器の設置に当たって

生徒たちは、筋力が成長してほしいと期待を込めた。野球部やサッカー部、バスケットボール部などに所属する生徒がトレーニングに励んでいる。

【網走発】道立北方民族博物館は、『北方民族博物館だより』第122号を発行した。昨年10月中旬まで開かれていた特別展「トナ

カイト暮らすタイカノ遊牧民たち」の概要などを紹介している。



【小樽発】俱知安中学校は、道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程で数学科を担当する赤本純基教諭と野口朝央教諭が担当した。

講師は、道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程で数学科を担当する赤本純基教諭と野口朝央教諭が担当した。

【小樽発】俱知安中学校は、道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程で数学科を担当する赤本純基教諭と野口朝央教諭が担当した。